

## 令和6年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書 【1年目】

P T A名	静岡県立吉田特別支援学校 P T A	
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
	全校児童・生徒数	190人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	レーザーカッター
使用学年及び人数	中学部3年、高等部木工班
使用頻度	月に1度程度
使用状況	<p>高等部: 作業学習 木工班の製品にイラストを印刷している。生徒と説明書を読みながら設定から行った。新製品の升の底板にキャラクターを印刷した。(高)</p> <p>中学部: 生活単元学習 校外学習で使用するパスケースのデザインを彫るために使用した。(中)</p>
物品の使用による変化や効果	<p>製品の完成度が上がり、生徒の活動に向かう意欲が高まると同時に、主体的に学習に取り組むようになった。(高・中)</p> <p>自分たちのデザインした物が形になることで、達成感を味わうことができた。(中・高)</p> <p>完成したパスケースは校外学習だけでなく、修学旅行でも使用し愛着を持って大切にしている。(中)</p>
今後の活用の見通しや課題	<p>作業学習や生産物の制作の工程で使用することで、より質の高い製品に仕上げ、量産できると良い。(中・高)</p> <p>全職員に使い方を周知することで使用頻度を高めたいと考える。(中・高)</p>
その他希望や所感など	初期設定には苦労した。(高)

## 2. 活用の様子

高等部

使い方の説明を見ている様子。初期設定も自分たちの力でいった(左)  
加工している様子を興味深く見ている(右)



升の底面にイラストを印刷



中学部

加工している様子に興味を示している(左)  
教師と一緒に準備し、セットしている様子(右)



パスケースに彫ったイラスト

